

NEWS RELEASE

【報道関係各位】



2026 年 2 月 19 日
一般財団法人 日本気象協会

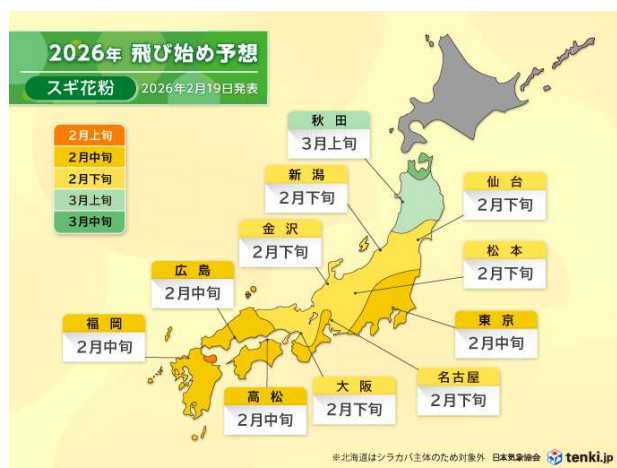
2026 年 春の花粉飛散予測(第 4 報) ～2 月下旬までに広い範囲で飛散開始 ピークは多くの所で 3 月上旬から～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋)は、2026 年春の花粉飛散予測(第 4 報)を 2026 年 2 月 19 日(木)に発表します。詳細情報は「2026 年春の花粉飛散予測資料(第 4 回)」として販売します。

■ 2026 年春の花粉飛散予測(第 4 報)[一部抜粋] ＜スギ花粉の飛散開始時期＞

スギ花粉は、2 月 16 日(月)までの観測で、九州から東海の一部、関東南部、東北南部の一部で飛散開始(※1)が確認されました。2 月下旬までに、九州から東北南部の広い範囲で飛散開始となるでしょう。

2 月上旬の気温が平年(※2)より低くなった影響で、九州から東海の飛散開始は例年(※3)と同じか遅い傾向です。この先、2 月下旬にかけての気温は平年より高く、3 月にかけて寒暖の変動が大きいでしょう。関東甲信、北陸から東北の飛散開始は、おおむね例年並みで、東北は例年より早い所もある見込みです。



日本気象協会独自の観測で飛散開始を確認している地点は次の通りです。

東京都千代田区 2 月 14 日(土) (14 日 7.7 個/cm²、15 日 10.8 個/cm²)

＜ピーク時期＞

福岡や東京など早い所では、2 月末までにスギ花粉の飛散ピーク(※4)の時期を迎えるでしょう。広い範囲でピークとなるのは 3 月上旬から中旬の見込みです。ピークの期間は 10 日間から 1 か月ほどでしょう。

ヒノキ花粉のピークは 3 月下旬から 4 月上旬で、ピークの期間は 5 日間から 2 週間ほどの見込みです。

この先、3 月にかけて寒暖を繰り返し、急に暖かくなる日には花粉の飛散量が急増するでしょう。スギ・ヒノキともピークの時期は例年並みの予想です。

＜飛散量予測＞

2026 年春の花粉(※5)飛散量は、西日本では、おおむね例年並みでしょう。東日本と北日本では、例年より多く、非常に多い所もある見込みです。



※1 飛散開始日 : 1cm²あたり 1 個以上の花粉を 2 日連続して観測した最初の日

※2 平年 : 過去 30 年(1991～2020 年)の平均値

※3 例年 : 過去 10 年(2016～2025 年)の平均値

※4 ピーク開始(終了)日 : スギ花粉は 1 cm²あたり 50 個以上の花粉を 2 日連続して観測した最初(最後)の日
ヒノキ花粉は 1 cm²あたり 30 個以上の花粉を 2 日連続して観測した最初(最後)の日

※5 花粉 : スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ



日本気象協会とALiNK インターネットが運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじゃーピー)』花粉飛散情報ページ(<https://tenki.jp/pollen/>)にて、今日の花粉飛散情報や 1 週間先までの花粉予測が確認できます。また、気象予報士のポイント解説(日直予報士)では花粉飛散に関する記事や花粉対策の紹介も行っています。毎日の花粉症対策にお役立てください。

◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は 1990 年からスギ花粉の飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は、前シーズンの花粉飛散結果と気象観測データ、および雄花花芽の現地調査の結果などをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報をふまえて予測しています。

本情報は、報道目的以外の無断での法人利用をご遠慮いただいています。商品の宣伝などで本情報の利用を検討いただく際は、必ず事前にお問合せください。また、本情報に掲載のない詳細な情報は、メディアでのご利用も含め、有償になります。

■(法人向け) 2026 年春の花粉飛散予測 各種有償サービスについて

日本気象協会では、シーズン全体の花粉飛散予測資料のほか、週単位の予測データなど、利用者のニーズに沿った予測資料を販売しています。

花粉症対策市場における商品の需要予測、販売計画、プロモーション計画などにご活用ください。

(1)2026 年春の花粉飛散予測に関する詳細資料

2026 年シーズンの予測を、文章資料および画像でご提供します。

- ・都道府県別の花粉飛散量(例年比・前シーズン比)
- ・スギ花粉の飛散開始時期
- ・花粉飛散のピーク時期
- ・予測根拠

詳細資料はシーズン中に複数回の更新があります。時期により資料の項目は異なります。

(2)週単位などの詳細な予測データの販売・花粉対策商材の需要予測コンサルティング

詳細な予測のご提供や、それらに基づくコンサルティングが可能です。

- ・週単位・都道府県別の花粉飛散量予測
- ・飛散量予測と独自モデルを利用した花粉対策商材(医薬品・マスク等)の需要予測
- ・売上要因分析レポートの作成
- ・ミーティング等によるデータ利活用支援のコンサルティング

詳細は、以下にお問い合わせください。

有償サービスに関するお問い合わせ先

(1)2026 年春の花粉飛散予測に関する詳細資料の企業での利活用について

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 気象 DX 事業部 メディア事業課

TEL:03-5958-8187 FAX:03-5958-8203 メールアドレス sales_pollen_media@jwa.or.jp まで

(2)週単位などの詳細な予測データの販売・花粉対策商材の需要予測コンサルティングについて

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 気象 DX 事業部 気象デジタルビジネス課

TEL:03-5958-8154 FAX:03-5958-8203 メールアドレス ecologi_sales@jwa.or.jp まで